

中野市の未来・・・
ともに考え、行動してみよう！



若者まちづくりワークショップ

第2回 資料 平成26年12月10日



ア. 全体プログラム(予定)

回	月日(曜)	内容	ひとこと
1	2014年 11月19日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニング&オリエンテーション ・市長あいさつ ・ワークショップとは？～概要説明 ・出席者の自己紹介 ・振り返りと展望 	はじめまして！まずはアイドリング、余計な緊張を解きほぐしましょう。
2	12月10日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと中野を再認識しよう ・中野市を取り巻く概況報告～統計データ等から ・市民意識の動向～市民アンケートから ●いよいよ、やってみよう！「中野市の現在を見つめて」 ・グループ分け(リーダー・書記の互選) ・どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み<ワーク> 	ふるさとの現在(いま)に、データ等から触れてみましょう。そしていよいよ、行動開始です！
3	2015年 1月14日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●課題対応と未来志向！「どんな中野市が良いのでしょうか」 ・前回ワークを踏まえた課題対応と未来志向の検討<ワーク> ・プロジェクトの検討<ワーク> 	現状からの進むべき方向・目標を考えてみませんか？
4	1月28日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●これからの取り組みを考える「必要なこと、やりたいこと」 ・作業のまとめ<ワーク> ・プロジェクト提案検討シートの作成<ワーク> 	目標に近づくための取り組みはどうしたら？
5	2月10日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト提案発表会 ・グループ別発表 ・市長の講評 	成果を発表しましょう！堂々と、です！！

イ. 今回のプログラム

項目	ひとこと
<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと中野を再認識しよう ・中野市を取り巻く概況報告 ～統計データ等から ・市民意識の動向 ～市民アンケートから 	<p>統計指標やアンケート調査結果などから、ふるさと中野の今を考えてみましょう。 (25分)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●いよいよ、やってみよう！「中野市の現在を見つめて」 ・自己紹介(名札づくり&あらためてのごあいさつ) ・グループ分け(リーダー・書記役決め) ・どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み<ワーク> 	<p>前置きが長くなりましたが、ようやく、実践へと進みます。 まずは、ふるさとが持っている、良い点、自慢できるところ、心配な点、良くしたいところなどを挙げてみましょう。 (45分)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●本日の成果発表・意見交換 	<p>全体で各グループの成果を発表します。持ち時間は各グループ3分ぐらい。ちょっとしたインタビューや皆さんからの質問タイムもあります。 (15分)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●次回以降に向けて(展望) 	<p>集ったみんなでの初めてのワーク、いかがでしたか？ 次回以降はいよいよ、最終の発表に向けて、「どうする？中野市」を考えていきます。 「課題解決」と「未来創造」の視点で。 (5分)</p>

2

ウ. プログラム「ふるさと中野を再認識しよう」

項目
<ul style="list-style-type: none"> ●統計指標の推移などを整理した基礎調査資料から、客観的なデータに基づく中野市の状況を見てみましょう。(第1回にて紹介済み)
<ul style="list-style-type: none"> ●市民意識調査(アンケート)の結果をもとに、市民の考える中野市像や暮らしぶりを見てみましょう。

3

ウ. プログラム「ふるさと中野を再認識しよう」

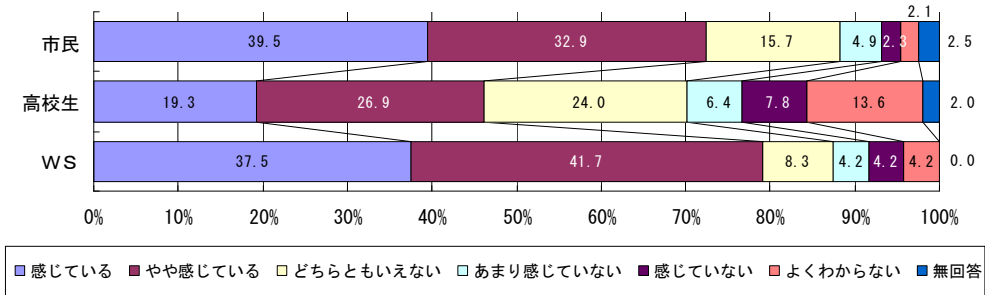
市民意識調査の主な回答結果(市民・高校生・WS(ワークショップ参加者))

<回答者数>

市民:1151票 高校生: 1273票

WS(ワークショップ参加者): 24票

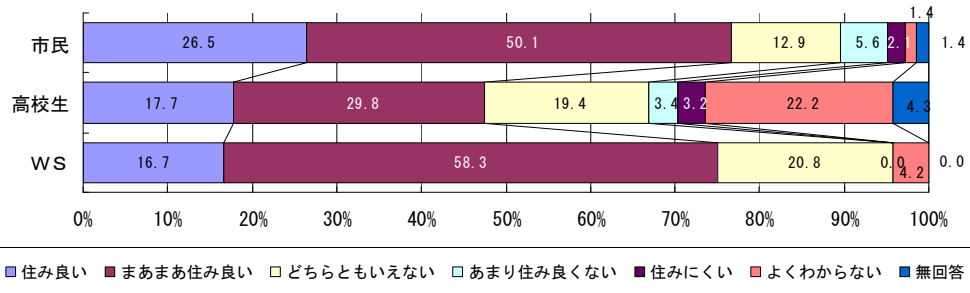
◆中野市への愛着



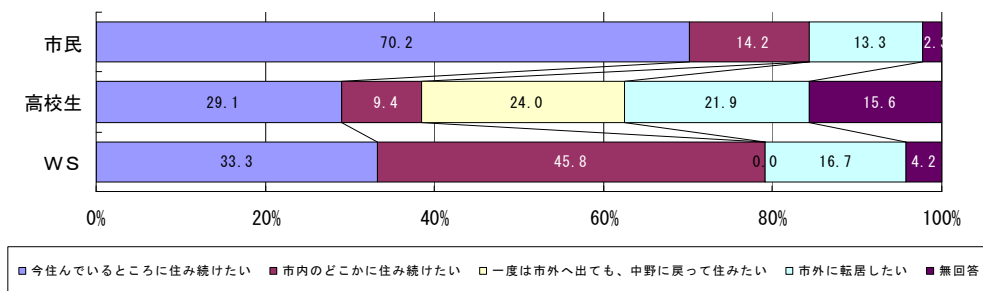
4

ウ. プログラム「ふるさと中野を再認識しよう」

◆中野市の住み良さ



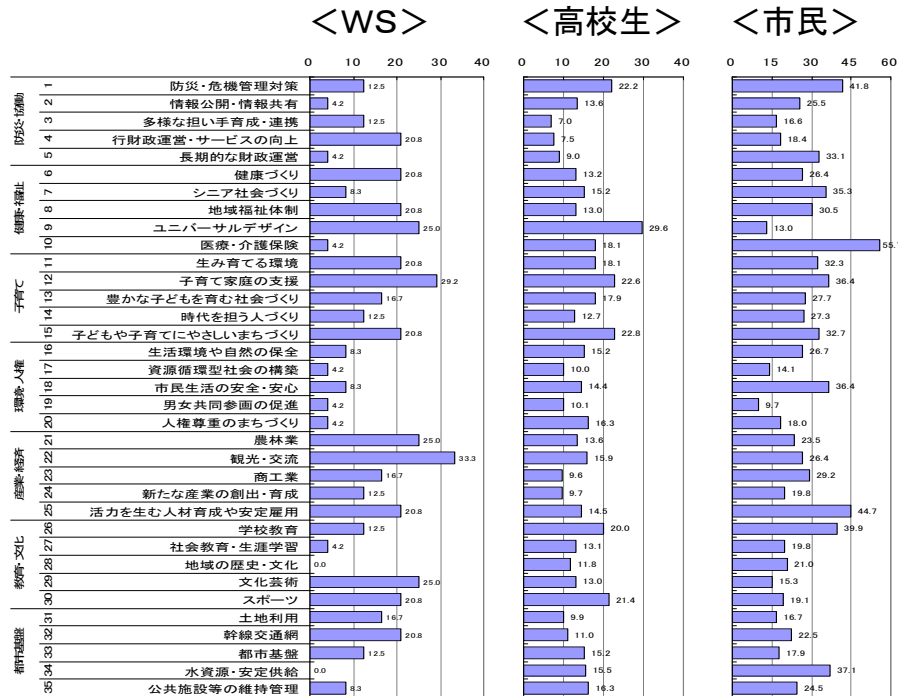
◆中野市への定住意向



5

ウ. プログラム「ふるさと中野を再認識しよう」

◆興味や関心のあるまちづくり分野



6

エ. プログラム「担当選出・グループ名の命名」

項目

- 議論をしやすいするため、また、互いにしのぎを削るため？
3つにグループ分けを行います。(予めグループごとに分かれてます)
- 前回から3週間を経過したので、あらためて自己紹介を。
テーブル上の付箋(ふせん)に、名前と一言(ニックネーム・趣味・アピールポイント等)を記入し、ネームホルダーに入れて、首にかけてください。
さあ、グループ内で順番に自己紹介ください。
- 各グループごとに、「リーダー」と「書記」を決めます。
「タイム・キーパー」は、リーダーを中心に、みんなでやりましょう。
- それでは、グループ名を決めましょう。

7

オ. プログラム「ワーク」…その前に

項目

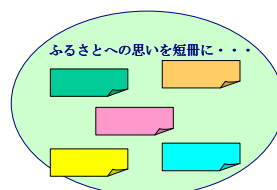
- 集いはじめて間もないみなさんが、スムーズに議論するためには、最低限のルールも必要となります。
- 「自分の意見は、なるべく簡潔に！」
～熱い思いを？伝える一方、わかりやすく説明することも大切です。一人だけ長時間話すことなく、適度な配慮で、みなさんが発言できるよう。
- 「人の話をよく聞く！」
～自分と違う意見の人もいるのが当たり前。さえぎったり、否定することなく、まずは耳を傾け、いろんな意見を味わうつもりで、グループ懇談を進めましょう。

8

カ. プログラム「どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み」

項目

- お手元の付箋(ふせん)に、中野市の良いところ、良くしたいところを書き込んでみてください。(1枚に1意見。1人2枚以上。なるべくはっきりと、大きな文字で)
時には周りのみなさんと相談しつつ、自己決定をお願いします！
- 模造紙上に、どんどん貼っていきましょう。
- リーダーの方が中心に、たくさん張られた付箋を、グループ分けしてみましょう。
 - ・強み(良いところ)、弱み(良くしたいところ)
 - ・類似した意見ごと
 - など、区別の仕方は自由です。
- どんな意見が多いか、また、傾向はあるか、など、みなさんの作業の成果から言えること、考えられることはなんでしょう？ 議論を通じ出てきた意見は、書記の方等を中心に、模造紙上に記しましょう。



9

カ. プログラム「どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み」

項目

- うまく区分できましたか？ 区分のバランスを気にする必要はありません。同じ意見がたくさんあっても、少ない意見でも、どれも貴重なみなさんの考え方です。
- いろんな大きさのくくりができたなら、一つひとつのくりに、タイトル(表題)をつけてみましょう。
- さあ、みなさんの意見やそのまとめを通じて、「中野市の良いところや、良くしたいところ」は、見えてきたでしょうか？
- リーダーを中心に、今日の流れや成果を鋭く？ 発表しましょう。持ち時間は3分程度です。それと、写真もパチリと。

10

カ. プログラム「どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み」

項目

- 以上が、本日のワークの流れをシミュレーションしたものとなります。
- 時間については、本日、みなさまに、「45分」差し上げますので、そのなかで、グループとしてまとめてみてください。
- 下に、おおよその時間配分を記しますが、あくまで参考です。学校の授業ではないので、自由に伸び伸びと意見を出し合うことを大切に進めてみてください。〈計45分〉
 - ①名札づくり⇒自己紹介⇒リーダー・書記役決め⇒グループ名命名〈15分〉
 - ②ふせん記入&懇談〈15分〉
 - ③ふせん貼り付け&わいわい区分&まとめ議論〈15分〉

11

カ. プログラム「どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み」

項目

[メモ]

12

チーム編成

(会議終了後に追加)

	チーム名	リーダー	書記
A	チーム大地	田中 大地	宮川 美聡
B	アタック & クラッシュ	岩月 光将	金澤 聡哉
C	ばかうけ	鈴木 章彦	小林 光代

13